

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-253289

(43)Date of publication of application : 18.09.2001

(51)Int.Cl.

B60N 3/10

A47C 7/54

A47C 7/62

(21)Application number : 2000-070409

(71)Applicant : JOHNSON CONTROLS
AUTOMOTIVE SYSTEMS CORP

(22)Date of filing : 14.03.2000

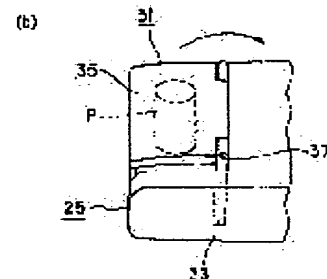
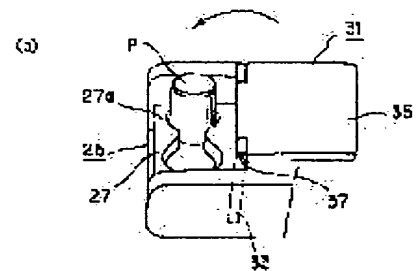
(72)Inventor : KOMIYA NAOTO

(54) CUP HOLDER OF ARMREST FOR VEHICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent outflow of the beverage off from a glass, etc., of a cup holder by vibration, etc., during the vehicle running, keep inside the vehicle interior clean, and prevent dust, dirt, etc., from intruding into the beverage in the glass, etc.

SOLUTION: The cup holder 25 is formed out of a body part 27 having opening 27a and a lid 31 composed of an upper lid 33 and a front lid 35. A vertical position adjusting groove 41 is formed from a plurality of lock grooves 45 provided in the upper lid 33, and a pin 29 is provided over a recess 28 formed in the holder body 27. The upper lid 33 is installed by the pin 29 in such a way as rotatable fore and aft, and the pin 29 is engaged selectively with either lock groove 45 in the upper lid 33 so that adjustment of vertical positioning is made. The front lid 35 shuts the opening in the upper part of a glass P, etc., stored in the holder body 27, and the glass P, etc., is taken out upon inverting the front lid 35.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-253289

(P2001-253289A)

(43) 公開日 平成13年9月18日 (2001.9.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
B 6 0 N 3/10		B 6 0 N 3/10	A 3 B 0 8 4
A 4 7 C 7/54		A 4 7 C 7/54	Z 3 B 0 8 8
7/62		7/62	A

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-70409(P2000-70409)

(22) 出願日 平成12年3月14日 (2000.3.14)

(71) 出願人 000210089

ジョンソン コントロールズ オートモー
ティブ システムズ株式会社
神奈川県綾瀬市小園771番地

(72) 発明者 小 宮 直 人

神奈川県綾瀬市小園771番地 池田物産株
式会社内

(74) 代理人 100074170

弁理士 秋山 修

Fターム(参考) 3B084 JA08 JB03

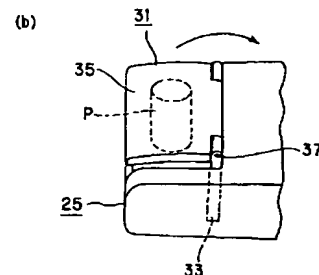
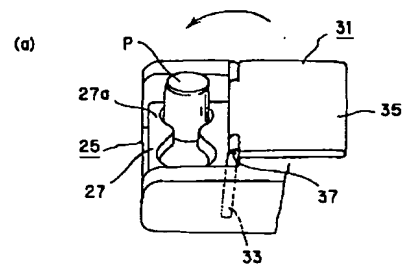
3B088 LA02 LB02

(54) 【発明の名称】 車両用アームレストのカップホルダー

(57) 【要約】

【課題】 走行中の振動等によりカップホルダーのコップ等の内部の飲み物が外部にこぼれるのを防止する。車室内の清潔性を保つ。コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入するのを防止する。

【解決手段】 カップホルダー25を開口部27aを有するホルダー本体27と、蓋体31とから形成する。蓋体31を上蓋33と前蓋35とから形成する。上蓋33に複数のロック溝45が形成された上下位置調整溝41を設ける。ホルダー本体27の凹部28の上部にピン29を設ける。ピン29により上蓋33を前後回動可能に取付けると共に、ピン29を上蓋33の複数のロック溝45の何れかに選択的に係止し上下位置調整する。前蓋35でホルダー本体27に収納されたコップP等の上部の開封口を閉蓋する。前蓋35を反転させてコップP等を取り出す。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 アームレスト本体にホルダー用凹部が形成され、該ホルダー用凹部にカップ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダーが取付けられた車両用アームレストのカップホルダーにおいて、

前記カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を開蓋できるようになされていることを特徴とする車両用アームレストのカップホルダー。

【請求項2】 アームレスト本体にホルダー用凹部が形成され、該ホルダー用凹部にカップ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダーが取付けられた車両用アームレストのカップホルダーにおいて、

前記カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前記前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を開蓋できるようになされ、前記前蓋を反転させてカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出せるようになされていることを特徴とする車両用アームレストのカップホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、車両用アームレストのカップホルダーに関し、更に詳細に説明すると、アームレスト本体にホルダー用凹部が形成され、該ホルダー用凹部にカップ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダーが取付けられた車両用アームレストのカップホルダーに関する。

【0002】

【従来の技術】図7に示すように、車両用シート等のリヤシート1は、乗員が着座するシートクッション2と、

乗員の背もたれ部となるシートバック3とから構成されており、トランクスルー構造のものにおいては、シートバック3の略中央に凹部または開口4を形成し、この開口4内にアームレスト本体5が収納され、このアームレスト本体5を開口4内への収納状態と、シートクッション2上に前倒して乗員の肘掛け機能とする状態とを取得するようにシートバック3の開口4内部で図示しないヒンジ機構を基にアームレスト本体5が回動自在に取付けられている。

【0003】また、このアームレスト本体5の機能性を高めるために、アームレスト本体5の使用状態の上面側にテーブルを兼用するプレート状のリッド6を上乗せ設置する構成のものも提案されている。前記リッド6は、開口4内に収納でき、且つシートクッション2側に前倒しできるように回動可能に取付けられている。

【0004】更に、図6に示す如く、アームレスト本体5の前端部にカップ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダー7が取付けられている。このカップホルダー7は開口部を有するホルダー本体7aと、このホルダー本体7aの開口部を開閉するように回動可能に設けられたホルダー可動体7bとから形成されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の図7に示すアームレスト本体5においては、アームレスト本体5は肘掛け機能を持つだけで、小物類やカップ、ドリンク缶、コップ等の置き場がなく、使い勝手上不便である。また図6に示す開口部を有するホルダー本体7aと、このホルダー本体7aの開口部を開閉するホルダー可動体7bとからカップホルダー7を形成した場合にも、カップ、ドリンク缶等を内部の飲み物をこぼすことなく確実に保持することができず、走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等が移動したり倒れ込んで車室内を汚す虞れがあり、また上部全面が開放された紙コップ等を用いる場合には、紙コップの内部にほこりやごみが入り易く、衛生的でなく、また小さい振動でもカップの内部の飲み物がこぼれる虞れを有するものであった。

【0006】本発明の目的は、アームレスト本体の肘掛けとしての使用時に、アームレスト本体にカップホルダー機能を付与し、更に、走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物が外部にこぼれる虞れがなく車室内の清潔性を保つことができ、カップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入する虞れがなく、保温効果を向上させることのできる車両用アームレストのカップホルダーを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上述せる課題に鑑みてなされたもので、本発明の請求項1に記載の車両用アームレストのカップホルダーは、アームレスト本体にホルダー用凹部が形成され、該ホルダー用凹部にカッ

ブ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダーが取付けられた車両用アームレストのカップホルダーにおいて、前記カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を閉蓋できるようになされていることを特徴とする。

【0008】従って、本発明の請求項1に記載の車両用アームレストのカップホルダーによれば、カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を閉蓋できるようになされているので、蓋体の前蓋がカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口側に密着し、走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物が外部にこぼれる虞れがなく車室内の清潔性を保つことができ、カップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入する虞れがなく、保温効果を向上させることができる。

【0009】本発明の請求項2に記載の車両用アームレストのカップホルダーは、アームレスト本体にホルダー用凹部が形成され、該ホルダー用凹部にカップ、ドリンク缶、コップ等を保持するカップホルダーが取付けられた車両用アームレストのカップホルダーにおいて、前記カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中

心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前記前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を閉蓋できるようになされ、前記前蓋を反転させてカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出せるようになされていることを特徴とする。

【0010】従って、本発明の請求項2に記載の車両用アームレストのカップホルダーによれば、カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前記前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を閉蓋できるようになされ、前記前蓋を反転させてカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出せるようになされているので、前蓋がカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口側に密着し、走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物が外部にこぼれる虞れがなく車室内の清潔性を保つことができ、カップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入する虞れがなく、保温効果を向上させることができ、また飲み物を飲む場合には前蓋を反転させるだけでカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出すことができる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーを図面を参照して詳述する。図1乃至図には本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーの実施の形態が夫々示されており、この車両用アームレストのアームレスト本体21は、図7に示すと同様にシートバック3の略中央の開口4内に回動可能に支承され、開口4内の収納状態と、前倒しされた使用状態とが得られるようになされているが、固定的なアームレストとすることもできる。

【0012】そして、車両用アームレストのアームレスト本体21は、図示せざるも、パイプ材またはパネル等からなるアームレストフレームと、アームレストフレームを包み込むパッド材と、このパッド材を被覆する表皮材とから大略構成されている。アームレスト本体21の後部両側には、リッドを回動可能に枢支することもできる。

【0013】また図1及び図2に示す如く、前記アームレスト本体21の前端部にはホルダー用凹部23が形成され、このホルダー用凹部23にカップ、ドリンク缶、

コップ P 等を保持するカップホルダー 25 が取付けられている。前記ホルダー用凹部 23 は本実施の形態では前端部に形成されているが、前後方向に複数形成することもできる。また本実施の形態ではアームレスト本体 21 の前端部は開放されている。

【0014】また、カップホルダー 25 は上方及び前方に開口部 27a を有するホルダー本体 27 と、このホルダー本体 27 の上方及び前方の開口部 27a を開閉する略 L 字状に屈折可能な蓋体 31 を有している。この蓋体 31 は本実施の形態では、開口部 27a の上方に位置する上蓋 33 と、この上蓋 33 に回動可能に枢支ピン 37 により枢支され、開口部 27a の前方に位置する前蓋 35 とを有している。

【0015】前記ホルダー本体 27 には上蓋 33 の収納用の凹部 28 が形成され、この凹部 28 の上部にピン 29 が設けられている。また上蓋 33 の側部に上下位置調整溝 41 が形成され、この上下位置調整溝 41 には上下に延びるガイド溝 43 と、ガイド溝 43 の上下位置に横方向に延びて形成された複数のロック溝 45 とが形成されている。

【0016】図 1 に示す如く、ホルダー本体 27 の上方及び前方の開口部 27a が略 L 字状に屈折された蓋体 31 により蓋をされて未使用の状態より、図 3 (a)、(b) に示す如く、カップホルダー 25 を使用する場合には、前記上蓋 33 を凹部 28 に収納すればよい。

【0017】即ち、上蓋 33 を凹部 28 に収納する場合には、蓋体 31 の上蓋 33 を、図 2 に示す如く、ピン 29 位置で回動させ、このピン 29 を上蓋 33 の側部の上下位置調整溝 41 のガイド溝 43 に沿って相対的に上昇させる。ピン 29 が上蓋 33 の上下位置調整溝 41 のガイド溝 43 の上端に到達することにより、または上蓋 33 の下端が凹部 28 の下端に到達することにより上蓋 33 は収納される。

【0018】図 3 (a) に示す如く、上蓋 33 を下降させて凹部 28 に収納し、上蓋 33 に枢支ピン 37 により枢支された前蓋 35 を反転してホルダー本体 27 の上方及び前方の開口部 27a を開状態としてカップホルダー 25 のホルダー本体 27 を使用することができる。

【0019】図 3 (b) に示す如く、前記ホルダー本体 27 に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ P 等の上部の開口部を前蓋 35 を反転して閉蓋できるようになされている。また前記凹部 28 のピン 29 を上蓋 33 の側部の複数のロック溝 45 の何れかに選択的に係止することができる。

【0020】図 4 (b) に示す如く、前記凹部 28 のピン 29 を複数のロック溝 45 の何れかに選択的に係止することにより上蓋 33 の高さが調整され、前蓋 35 の上下位置が調整される。尚、前蓋 35 は摩擦ロック等により適宜の節度感が得られるのが好ましい。またピン 29 と上下位置調整溝 41 のガイド溝 43 及び複数のロック

溝 45 の構成は逆構成とすることができる。

【0021】図 5 (b) に示す如く、前記蓋体 31 の上蓋 33 の高さを調整するには、ピン 29 を、例えば下部のロック溝 45a からガイド溝 43 に押し出し、ガイド溝 43 に沿って上昇させ、上部のロック溝 45b に押し込めば、図 4 (b) に想像線で示す如く上蓋 33 の高さを低くすることができる。

【0022】本発明によれば、図 1 に示すように、アームレスト本体 21 のカップホルダー 25 の未使用の状態と、図 3 (a)、(b) に示す如く、カップホルダー 25 にカップ、ドリンク缶、コップ P 等を収納する使用状態とが得られ、カップ、ドリンク缶、コップ P 等の開口部である上面に前蓋 35 を密接させて蓋をすることにより、カップ、ドリンク缶、コップ P 等を開封して長時間おいても、埃や異物等が内部に混入することがなく、非常に衛生的であると共に、走行中の振動や急カーブ等の運転状況によっても飲み物が外部にこぼれることがなく、車室内を清潔に保つことができ、また蓋をすることにより保温効果を向上させることができ、また前蓋 35 を反転させて簡易迅速に飲み物を飲むことができる。

【0023】

【発明の効果】以上が本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーの実施の形態であるが、本発明の請求項 1 に記載の車両用アームレストのカップホルダーによれば、カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回動可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開口部を閉蓋できるようになされているので、蓋体の前蓋がカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開口部側に密着し、走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物が外部にこぼれる虞れがなく車室内の清潔性を保つことができ、カップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入する虞れがなく、保温効果を向上させることができる。

【0024】また、本発明の請求項 2 に記載の車両用アームレストのカップホルダーによれば、カップホルダーは開口部を有するホルダー本体と、該ホルダー本体の開口部に設けられた蓋体とを有し、該蓋体は上蓋とこの上蓋に回動可能に枢支された前蓋とを有し、前記上蓋の側部に上下位置調整溝が形成され、該上下位置調整溝には上下位置に複数のロック溝が形成され、前記ホルダー本

体の側部の上部にピンが設けられ、該ピンにより上蓋を前後回転可能になされていると共に、ピンが上蓋の側部の複数のロック溝の何れかに選択的に係止されるようになされ、前記上蓋を前記ピンを中心に跳上げた状態で、上蓋の何れかのロック溝にピンを係止した場合に、前記前蓋が前記ホルダー本体に収納されたカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口を閉蓋できるようになされ、前記前蓋を反転させてカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出せるようになされているので、前蓋がカップ、ドリンク缶、コップ等の上部の開封口側に密着し、

走行中の振動等によりカップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物が外部にこぼれる虞れがなく車室内の清潔性を保つことができ、カップ、ドリンク缶、コップ等の内部の飲み物にほこりやゴミ等が侵入する虞れがなく、保温効果を向上させることができ、また飲み物を飲む場合には前蓋を反転させるだけでカップ、ドリンク缶、コップ等を取り出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーの未使用状態の斜視図。

【図2】本発明に係るカップホルダーの蓋体を開く状態*30

*の斜視図。

【図3】本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーの使用状態を示すもので、(a)は斜視図、(b)は前蓋を反転させた状態の斜視図。

【図4】本発明に係る車両用アームレストのカップホルダーを示すもので、(a)は断面図、(b)はカップホルダーの使用状態の断面図。

【図5】本発明に係るカップホルダーの上下位置調整溝を示すもので、(a)は蓋体を開く状態の断面図、(b)は前蓋を下降させる場合の断面図。

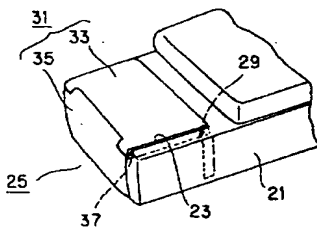
【図6】従来の車両用アームレストのカップホルダーの斜視図。

【図7】従来のリヤシートにおけるアームレスト本体の前倒し状態を示す斜視図。

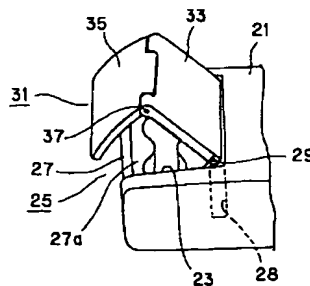
【符号の説明】

- | | |
|-----|----------|
| 21 | アームレスト本体 |
| 23 | ホルダー用凹部 |
| 25 | カップホルダー |
| 27 | ホルダー本体 |
| 27a | 開口部 |
| 28 | 凹部 |
| 29 | ピン |
| 31 | 蓋体 |
| 33 | 上蓋 |
| 35 | 前蓋 |
| 37 | 枢支ピン |
| 41 | 上下位置調整溝 |
| 43 | ガイド溝 |
| 45 | ロック溝 |

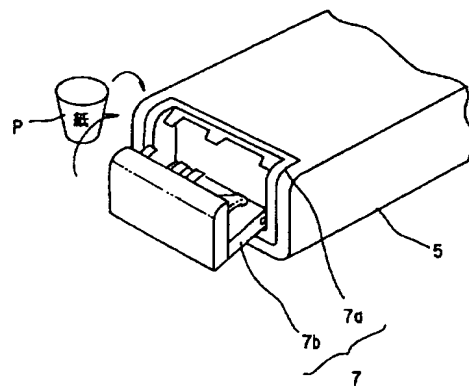
【図1】



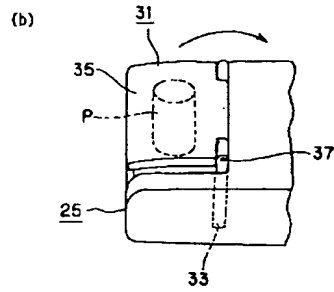
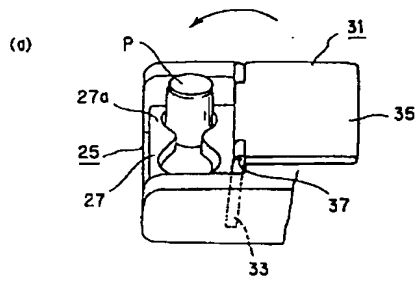
【図2】



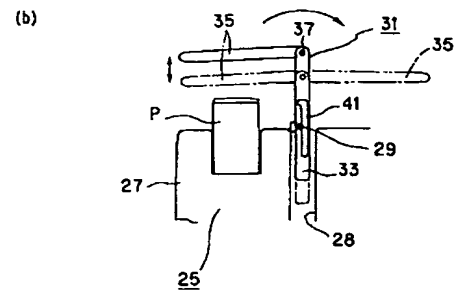
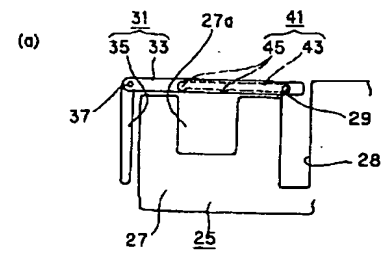
【図6】



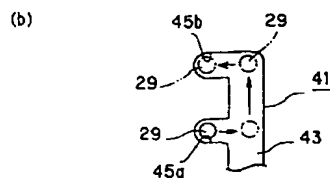
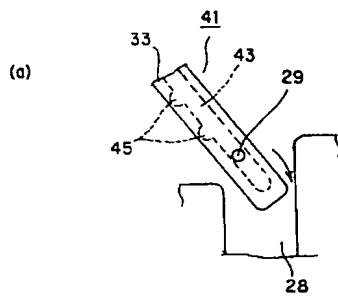
【図3】



【図4】



【図5】



【図7】

